

野中

あつし

衆議院議員

野中が守る 行田市を守る 浸水対策で守る



「治水整備改革」

美しい城下町を後世に残すために

- 野中が繋ぐ行田市の治水対策
- 豪雨による浸水被害をなくす
- 調節池造成実現に向けた行動
- 治水の重要性を強力アピール
- 浸水対策重点地域特別緊急事業
交付金獲得のための活動
- 利根川堤防整備の推進

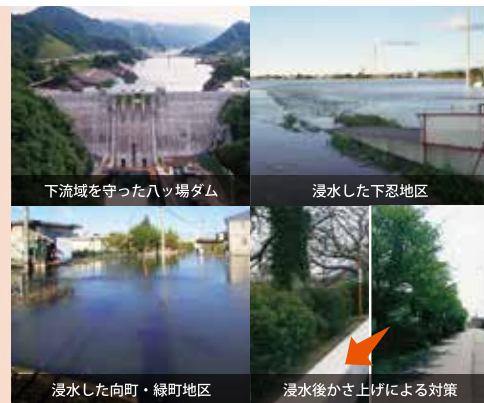


衆議院議員8年の経験と実績を生かし、緊急事業交付金
緊急事業交付金治水で、行田のまちと市民の命を守ります

野中が獲得した総事業費約75億円の 浸水対策重点地域特別緊急事業交付金

STEP 1 2019年

- 2019年10月12日から13日に、関東から東北にかけて未曾有の豪雨をもたらした**台風19号**。かつて経験した事のない雨量から下流域を守ったのは、当時試験湛水段階にあった**八ッ場ダム**でした。
- 建設中止が撤回され、完成に至ったことで大規模模災害は免れたものの、行田市に於いては忍川下流域の氾濫により浸水被害を受けたことは記憶に新しいところです。
- 今後も起こりうるであろう、同レベルの降水を見据えた取り組みを急務と捉え、様々な働きかけが始まりました。



STEP 2 2020~2021年

- 避難所が浸水し、役目を成さない最悪の状況を筆頭に、問題点を浮き彫りにしたのが台風19号による被害です。
- 即座に忍川のかさ上げ、^{しゅんせつ}浚渫などの対策を講じましたが、根本的な解決のためには**調節池造成**が必要不可欠です。そこで、2020年11月に国土交通省に**市長、市議会議長と共に要望活動**を行い、今年2月には再要望に至りました。
- 同じく2月に予算委員会分科会で質問を行い、治水意識の重要性や、調節池造成という国が関わる数少ない事業に対する、行田市民の命を守る上での必要性を訴えています。

質問についてこちら視聴できます



STEP 3 現在

- 調節池造成、河川拡幅等の総事業費は、**約75億円**。実に膨大な額です。そこで、「**浸水対策重点地域特別緊急事業交付金**」を獲得に奔走し、最速での**水害に強いまちづくり**実現を可能にしました。この内、行田市の負担は**約2億円弱**、市の財政に多大な負担を掛けることなく計画が進行できます。
- 衆議院議員生活8年間の経験と実績があったからこそ、成し得た挑戦です。また、県と市が一体となって実現する、**行田市民の命を守る**ための大きな一歩です。



STEP 4 行田市の未来

- 利根川治水同盟副会長の立場から、**利根川・荒川の堤防整備**も進めています。地球温暖化による過去に経験のないクラスの自然災害に対する**防災意識**を、日々意識し共有していくことも重要です。
- 近未来の行田市を、水の脅威に負けない強いまちにします。かつて「のぼう様」が石田三成の水攻めから守り抜いた誇らしい功績と、遥かな時を経て現代まで継がれてきたまちを、そこに住まう人の大切な命を、**治水を通して守りたい**。
野中あつしの「想いは熱し!」、これからも絶えることはありません。



治水とは?

治水とは、洪水などの水害を防ぎ、また水運や農業用水の便のため河川の改良・保全を行うこと。まちでは、増水時における水の緊急貯留場所として遊水地を作ったり、ため池を整備したり、学校の校庭なども使用できる様に準備を整えることです。

「のぼう様」が守った土地を、治水で守り未来の子供達へ